

# 経済・金融概況

## [メキシコ]

### 1. 景気概況

1-3月期の実質GDP成長率は前年比+1.2%と、前期（昨年10-12月期）の同+1.7%から低下した（第1図）。需要項目別にみると、輸入の伸び率が大きく鈍化（同+1.7%、前期同+5.6%）したことを背景に純輸出の寄与度が+0.1%ポイントと2四半期ぶりにプラス転化した一方、在庫の寄与度は大きく縮小（同+0.7%ポイント、前期+1.8%ポイント）し、個人消費の伸び率も3四半期連続で鈍化（同+1.1%、前期同+1.4%）した。産業別に見ると、第一次産業は同+5.8%と好調であったが、第二次産業は同▲0.7%と減少し、第三次産業も同+1.9%と前期（同+2.7%）から大きく鈍化した。

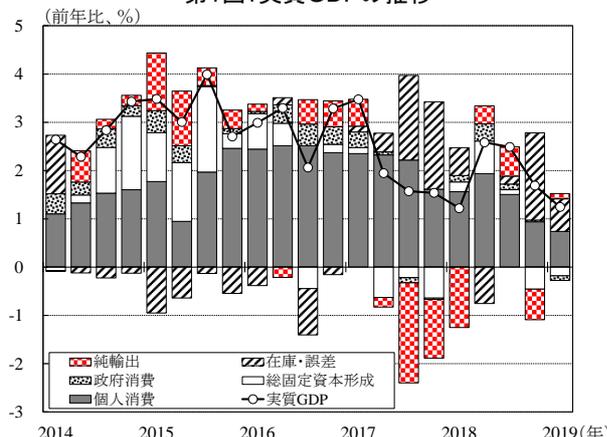
先行きを展望すると、ネガティブな材料として、①最大の貿易相手国である米国の経済が緩やかに減速すると見込まれるほか、②5月30日にトランプ大統領が突如公表したメキシコに対する制裁関税等が挙げられる。但し、本関税措置はそもそも「貿易摩擦」ではなく「不法移民問題」に起因する措置であることや、メキシコ政府が不法移民対策に前向きであることを勘案すると、米中貿易摩擦のような泥沼化は避けられると見られる（実際、6月7日には米国への不法移民流入を抑えるべく、メキシコ政府が治安部隊を南部国境へ派遣する等の措置をとることで合意し、当制裁関税措置は無期限に停止された）。一方、ポジティブな材料としては、財政政策が挙げられる。オブラドール政権は地方間の格差是正を公約に掲げており、今年後半から公共事業の着工等が増加してくると予想される。

### 2. 物価・雇用

物価：2018年の消費者物価上昇率は前年比+4.9%であったが、足元では同+4%台前半まで低下している（第2図）。ただし、メキシコ中央銀行は、5月の四半期インフレ報告書で、2019年10-12月期の消費者物価上昇率の予想値を同+3.7%（前回は同+3.4%）、2020年10-12月期を同+3.0%（同+2.7%）とやや引き上げている。

雇用：失業率は3%台半ばで推移しており、直近4月は3.5%となっている。

第1図：実質GDPの推移



(資料) 国立統計地理情報院統計より国際通貨研究所作成

第2図：失業率と消費者物価の推移

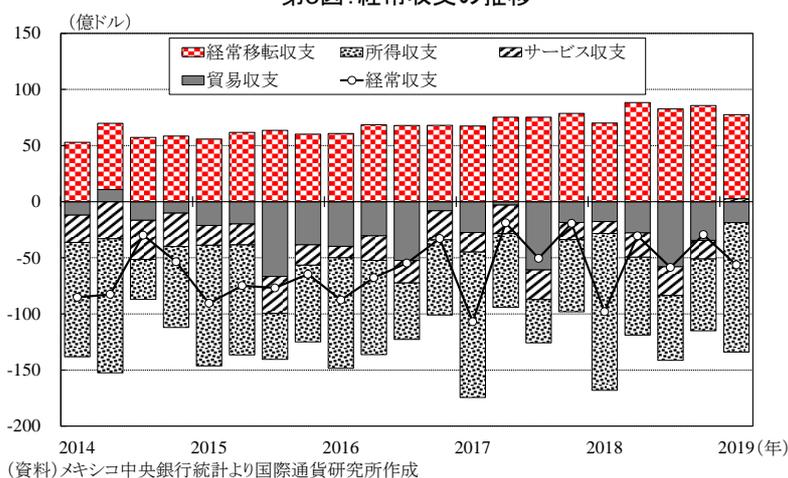


(資料) 国立統計地理情報院統計より国際通貨研究所作成

### 3. 経常収支

1-3 月期の経常収支は 56 億ドルの赤字と、前年（2018 年 1-3 月期）の 98 億ドルの赤字から赤字幅が縮小した（第 3 図）。所得収支の赤字幅が縮小（115 億ドル、前年は 140 億ドルの赤字）したことや、サービス収支が 3 億ドルの黒字に転化（前年は 11 億ドルの赤字）したことが要因である。

第3図：経常収支の推移



### 4. 金融市場

**為替**：5 月 30 日に米国の対メキシコ制裁関税措置が公表されると、ペソ売りが進み、1 ドル 19.6 ペソ台と対米ドルで 2%を超える急落となった。ただ、制裁関税措置の無期限停止が発表されると、1 ドル 19 ペソ近辺と制裁関税措置公表前の水準に戻った（第 4 図）。

**政策金利**：メキシコ中央銀行は、昨年 12 月に政策金利を 8.25%に引き上げて以降、据え置きを続けている。国内景気に減速感がみられるものの、インフレへの警戒や為替動向の注視などが必要なことから、利上げ・利下げいずれの方向にも動き難い状況にあると推察される。

**株価**：ボルサ指数は、世界的にリスク回避志向が根強い情勢の中で、昨年よりも切り下がったレンジでの推移となっている（第 5 図）。

第4図：メキシコペソ(対ドル)の推移



第5図：株価(ボルサ指数)の推移



## メキシコ経済・金融概況

### 1. 年次

	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	3.3%	2.9%	2.1%	2.0%
鉱工業生産指数(前年比)	1.2%	0.4%	▲0.3%	0.2%
自動車生産台数(千台)	3,399	3,466	3,932	3,908
自動車国内販売台数(千台)	1,352	1,604	1,530	1,422
原油産出量(千バレル/日)	2,592	2,458	2,227	2,072
(前年比)	▲7.1%	▲5.1%	▲9.4%	▲7.0%
原油輸出価格(ドル/バレル)	43.2	35.5	46.4	61.5
失業率	4.4%	3.9%	3.4%	3.3%
消費者物価上昇率(年平均)	2.7%	2.8%	6.0%	4.9%
(年未月・前年比)	2.1%	3.4%	6.8%	4.8%
輸出(FOB)(億ドル)	3,806	3,739	4,094	4,507
(前年比)	▲4.1%	▲1.7%	9.5%	10.1%
輸入(FOB)(億ドル)	3,952	3,871	4,204	4,643
(前年比)	▲1.2%	▲2.1%	8.6%	10.4%
経常収支(億ドル)	▲307	▲243	▲196	▲216
資本収支(億ドル)	▲1	0	1	▲1
対外準備(億ドル)(年末)	1,767	1,765	1,728	1,748
ベースマネー(億ペソ)(年末)	12,417	14,203	15,459	16,742
政策金利(年末)	3.3%	5.8%	7.3%	8.3%
株価指数(ボルサ指数)(年末)	42,978	45,643	49,354	41,640
対米ドル為替相場(年末)	17.2712	20.6015	19.5655	19.6937

### 2. 月次

	18年10月	11月	12月	19年1月	2月	3月	4月	5月	6月
実質GDP(前年比)	—	1.7%	—	—	1.2%	—	—	-	—
鉱工業生産(前年比)	1.0%	▲1.2%	▲2.6%	▲1.0%	▲1.0%	▲0.1%	▲2.9%	-	-
(季節調整済、前月比)	▲2.0%	▲0.5%	▲0.5%	0.6%	0.2%	▲1.2%	1.5%	-	-
自動車生産台数(千台)	372	345	238	334	312	347	300	350	-
自動車販売台数(千台)	117	134	142	111	104	117	98	102	-
原油産出量(千バレル/日)	1,988	1,931	1,928	1,859	1,943	1,934	1,915	-	-
(前年比)	▲8.1%	▲8.5%	▲8.6%	▲15.1%	▲9.7%	▲8.5%	▲10.8%	-	-
原油輸出価格(米ドル/バレル)	71.3	59.8	50.5	53.8	56.8	59.0	61.6	-	-
失業率(季節調整済)	3.2%	3.3%	3.6%	3.5%	3.4%	3.6%	3.5%	-	-
消費者物価上昇率(前月比)	0.5%	0.9%	0.7%	0.1%	▲0.0%	0.4%	0.1%	▲0.3%	-
(前年比)	4.9%	4.7%	4.8%	4.4%	3.9%	4.0%	4.4%	4.3%	-
輸出(FOB)(億ドル)	413.6	386.1	375.5	326.2	364.1	390.2	394.5	-	-
(前年比)	12.6%	2.9%	4.4%	6.2%	3.8%	▲1.2%	6.1%	-	-
輸入(FOB)(億ドル)	442.9	409.3	356.9	372.6	350.7	375.3	380.8	-	-
(前年比)	13.7%	10.4%	▲0.8%	6.0%	2.7%	▲0.5%	1.6%	-	-
経常収支(億ドル)	—	▲29.4	—	—	▲56.3	—	—	-	—
資本収支(億ドル)	—	▲0.1	—	—	▲0.3	—	—	-	—
対外準備(億ドル)(月末)	1,735	1,738	1,748	1,756	1,757	1,766	1,767	1,779	-
ベースマネー(億ペソ)(月末)	15,287	15,664	16,742	16,037	15,790	15,611	15,717	15,745	-
政策金利(月末)	7.75%	8.00%	8.25%	8.25%	8.25%	8.25%	8.25%	8.25%	-
株価指数(ボルサ指数)(月末)	45,803	39,427	41,574	43,639	43,623	42,826	44,975	42,618	-
対米ドル為替相場(月末)	19.5071	20.5178	19.8670	18.9332	19.2087	19.1105	18.9414	19.0905	-

(資料)メキシコ中銀、国立統計地理情報院(INEGI)、PEMEX、Thomson Reuters Datastreamより国際通貨研究所作成

照会先：国際通貨研究所 石丸 康宏 yasuhiko\_ishimaru@iima.or.jp  
戸松 篤志 atsushi\_tomatsu@iima.or.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊社ホームページでもご覧いただけます。